

第2回『学校での「こころの育み」を見なおすための七つの問い』 アンケート結果と御礼

仲秋の候、保護者の皆様、学校評議員の皆様にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、和田小学校の教育活動に対するご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

さて過日、お忙しい中、お願いをしておりました「第2回『学校での「こころの育み」を見なおすための七つの問い』のアンケート結果がまとまりました。アンケート調査に時間を割いて頂き、深謝申し上げます。

つきましては、その結果と分析により、今後学校で改善を図って参りたいと考えています。その内容につきまして、別紙のとおりお知らせいたしますので、ご協力をお願い申し上げます。

配付数（実家庭数・学校評議員数）68件 回収数 52件 回収率 約76%（前回より-13%）

この結果を真摯に受け止め、和田小学校の重点目標「子どもの人間力をはぐくむ」を達成するために、課題を解決すべく、全教員が前向きに改善や検討により進めて参ります。

ご指摘の問題点も、多く見られましたので、子どもたちの「こころの育み」を目指し、和田小学校として心の教育を全力で推進して参ります。今後、保護者の皆様方に授業風景や教員の指導状況をご覧いただき、貴重なご意見を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 アンケート結果 ※別表参照（右頁です）
- 2 結果の分析（課題と解決・改善のための実践事項）

<課題> ※評価平均が3以下の項目

項目① 教師と子どもの信頼関係、子どもの感性や言葉遣い

<改善策> 和田小学校では、年間指導計画により子どもたちの学力・道徳・健康生活を指導し、授業では、教師と子どもの信頼関係の基、進めています。より一層、配慮した指導を進めて参ります。

<改善策> 感性や言葉遣いの問題点を、適宜把握し、発達段階に応じた指導をしています。

項目② 教師の一言（発言）

<改善策> 教師の一言が、子どもたちへの影響が大きいことを改めて、全教員で確認し、発言に関する影響が出ないよう学校全体で進めていきます。管理職から、個々の教員へ厳しく指導を進めて参ります。

項目④ 教科における「こころの育み」、教職員の一致協力体制

<改善策> 道徳以外にも、国語、社会、算数、体育など全教科で、「こころ」を重視した指導をしています。

項目⑥ 学校と保護者の連携

<改善策> 授業参観後、道徳教育をテーマに、学年懇談会で、教師と保護者で「こころ」の教育を話し合いました。「こころの育み」に関する教育活動も積極的に実践しています。

項目⑦ 行政による居場所づくり、学校や地域での相談場所、地域人材の活用

<改善策> すでに、行政による居場所は、和田分館内に「放課後児童クラブ・和田遊友クラブ」が設置されています。和田小学校の1年から6年まで、希望者が参加し、居場所が確保されています。

<改善策> 和田小学校内には、教育相談窓口が設置されています。定期的に教育相談の専門家（S S W）が和田小学校に常駐しています。すでに、活用されています。設置について周知していますが、不十分ですので、今後も相談の通知を発信します。

<改善策> 地域人材の活用は、年間、100名近くの人材の方が和田小学校で、ボランティアや学習支援に携わっています。今後も、活用して参ります。

第2回学校での「こころの育み」を見直すための七つの問い

(保護者・学校評議員調査の結果)

和田小学校 平成27年10月1日(金)

★達成基準として、8割以上を目標に設定しています。
「4」の8割として、3.2以上が目標です。

項目	評価の平均	4=十分 3=行っている 2=すこし 1=ほとんどない	要素	平均値
① 学校は、子どもたちにしっかりと学力を身につかせ、先生や友人との関係をつうじて対人関係の基本を育てているだろうか？	学力向上と信頼関係構築 3.01	・学力の基礎基本を徹底し、学ぶこと、知ること、分かることの楽しさを身につけているか？	学び	3.21
		・教師と子どもは、信頼と愛情のある関係をつくっているか？	信頼	2.96
		・子どもの世界の感性や言葉づかいが薄っぺらなものになっていることを見逃していないか？	言葉遣い	2.87
② 教師は、一人一人の子どもに自信をもたせる努力をしているだろうか？	教師の働きかけ 3.03	・子ども一人一人の長所に着目し、誉めて自信をつけさせる努力をしているか？	よさ	3.10
		・子どもに自分を表現する機会を与え、自分の能力や魅力を発見させているか？	能力の発揮	3.15
		・教師の一言が、その子の人生を導く力をもつことを自覚して接しているか？	教師の発言	2.85
③ 学校では、道徳教育を魅力的で説得的なものにするよう、工夫をしているだろうか？	道徳教育 3.04	・よい読み物を活用し、楽しみながら人としての価値、社会生活・集団生活での規範や規律をしっかりと伝えているか？	社会性規範	3.06
		・ボランティア、体験学習を通じ、他人のために働くことの大切さを身で覚える工夫をしているか？	勤労観	3.04
		・道徳の時間ではどのように教えるのか、学校や学年全体で話し合い、適切な内容と効果的な方法を工夫し、実践しているか？	道徳の時間	3.04
④ 道徳教育の時間だけでなく、学校全体で「こころを育む」という姿勢をとっているだろうか？	こころの教育 3.15	・教師は、各教科でも、「こころを育む」ことを根底にもちながら教育にあたっているか？	教科	2.94
		・教職員はつねに一致協力して事にあたっているか？ 教師は子どもに迎合的になりすぎているか？	一致協力	2.96
		・学級活動、児童会活動をはじめ、自然体験、奉仕活動、本物の芸術（昨年度は能楽）にふれる時間、運動会や学習発表会など全学年が参加する学校行事を積極的にとりいれているか？	体験活動	3.44
		・学校行事などを通じ、友人関係や公共心、忍耐や協力の大切さを身につける機会にしているか？	公共心や忍耐	3.27
⑤ 学校では、「こころを育む」ための具体的なアクションをとっているだろうか？	こころを育むメソッド 3.21	・挨拶、人への親切、清潔、栽培すること、「早寝、早起き、朝ご飯」など、目に見える具体的な目標を決め（あるいは、子どもたちに決めさせ）、それを日常的に実践しているか？	あいさつ	3.25
		・給食や食事を「こころを育む」大切な機会ととらえているか？	給食とこころ	3.29
		・「朝の読書」を推進しているか？ 読書の大切さを保護者にきちんと伝えているか？	読書推進	3.08
⑥ 学校と親（保護者）とは、たがいの立場を尊重・理解し、協力しあう関係にあるだろうか？	学校と親の協働性 2.97	・学校は、自分たちの考え方や教育方針を、保護者にしっかりと伝えているか？	教育方針	3.08
		・「こころを育む」には、学校と家庭とが価値観を共有しつつ子どもに接することが大切であるが、そのために学校と保護者が話し合い、力を合わせているか？	学校と親の連携	2.87
⑦ 学校と地域の大人たちは、一致協力して、子どもたちの居場所、子どもたちの相談場所を設けているだろうか？	居場所づくり 2.79	・放課後、地域の施設を開放して、子どもたちが遊び、学べる場所をつくっているか？	居場所づくり	2.81
		・学校や地域では、子どもたちの悩みや心配事を聴き、相談にのる場所と人を用意しているか？	相談場所	2.69
		・人生や仕事の豊かな経験をもつ地域の大人の協力を得て、生き方、考え方、感じ方について学校で語ってもらっているか？	地域人材活用	2.87



